

計算書類に対する注記(法人全体用)

1. 継続事業の前提に関する注記

該当なし

2. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

・ 建物並びに器具及び備品一定額法

・ リース資産

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっている。

(2) 引当金の計上基準

・ 退職給付引当金－独立行政法人福祉医療機構共済加入につき退職給付引当金は計上していない。

・ 賞与引当金－職員に対する賞与の支払いに備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。

3. 重要な会計方針の変更

該当なし

4. 法人で採用する退職給付制度

退職給付制度は、独立行政法人福祉医療機構の社会福祉施設職員等退職手当共済制度の退職共済制度によっている。

5. 法人が作成する計算書類と拠点区分、サービス区分

当法人の作成する計算書類は以下のとおりになっている。

(1) 法人全体の計算書類(第一号第一様式、第二号第一様式、第三号第一様式)

(2) 事業区分別内訳表(第一号第二様式、第二号第二様式、第三号第二様式)

当法人では、社会福祉事業以外の拠点がないため作成していない。

(3) 社会福祉事業における拠点区分別内訳表(第一号第三様式、第二号第三様式、第三号第三様式)

(4) 公益事業における拠点区分別内訳書(第一号第三様式、第二号第三様式、第三号第三様式)

当法人では、拠点区分に計上すべき公益事業及び、収益事業を実施していないため作成していない。

(5) 各拠点に区分におけるサービス区分の内容

希望の里(社会福祉事業)

「法人本部」

「特別養護老人ホーム 希望の里」

「希望の里 短期入所センター」

「希望の里 デイサービスセンター」

「希望の里 在宅支援センター」

「希望の里 介護支援センター」

6. 基本財産の増減の内容及び金額

基本財産の増減の内容及び金額は以下のとおりである。

(単位:円)

基本財産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
土地	138,959,571	0	0	138,959,571
建物	486,149,249	0	19,465,782	466,683,467
定期預金	3,000,000	0	0	3,000,000
合計	628,108,820	0	19,465,782	608,643,038

7. 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩し

該当なし

8. 担保に供している資産

担保に供されている資産は、以下のとおりである。

土地(基本財産)	138,959,571円
建物(基本財産)	466,683,467円
計	605,643,038円

担保に供している債務の種類及び金額は、以下のとおりである。

設備資金借入金(1年以内返済予定額を含む)	19,500,000円
計	19,500,000円

9. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、以下のとおりである。
(単位:円)

	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
基本財産			
土地	138,959,571	0	138,959,571
建物	809,818,970	343,135,503	466,683,467
小計	948,778,541	343,135,503	605,643,038
その他の固定資産			
建物	6,825,000	5,202,657	1,622,343
構築物	309,750	217,792	91,958
車両運搬具	9,503,472	6,102,955	3,400,517
器具及び備品	80,950,513	65,096,283	15,854,230
有形リース資産	14,235,264	4,799,952	9,435,312
小計	111,823,999	81,419,639	30,404,360
合計	1,060,602,540	424,555,142	636,047,398

10. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高

債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高は以下のとおりである。

(単位:円)

	債権額	徴収不能引当金の当期末残高	当期末残高
事業未収金	48,181,496	0	48,181,496
合計	48,181,496	0	48,181,496

11. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

該当なし

12. 関連当事者との取引の内容

平成30年度第3回理事会で承認

希望の里短期入所センター利用者の家族から苦情により、徴収不能額処理 ￥31,186円

13. 重要な偶発債務

該当なし

14. 重要な後発事象

該当なし

15. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態を明らかにするために必要な事項

該当なし

計算書類に対する注記（希望の里拠点区分用）

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

- ・ 建物並びに器具及び備品一定額法
- ・ リース資産

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっている。

(2) 引当金の計上基準

- ・ 退職給付引当金－独立行政法人福祉医療機構共済加入につき退職給付引当金は計上していない。
- ・ 賞与引当金－職員に対する賞与の支払いに備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。

2. 重要な会計方針の変更

該当なし

3. 採用する退職給付制度

退職給付制度は、独立行政法人福祉医療機構の社会福祉施設職員等退職手当共済制度の退職共済制度によっている。

4. 拠点が作成する計算書類とサービス区分

当拠点区分において作成する計算書類は以下のとおりになっている。

- (1) 希望の里拠点区分別計算書類（第一号第四様式、第二号第四様式、第三号第四様式、別紙3①）
- (2) 公益事業における拠点区分別内訳書（第一号第四様式、第二号第四様式、第三号第四様式、別紙3①）
当法人では、拠点区分に計上すべき公益事業及び、収益事業を実施していないため作成していない。
- (3) 拠点区分におけるサービス区分の内容
希望の里（社会福祉事業）
「法人本部」
「特別養護老人ホーム 希望の里」
「希望の里 短期入所センター」
「希望の里 デイサービスセンター」
「希望の里 在宅支援センター」
「希望の里 介護支援センター」

5. 基本財産の増減の内容及び金額

基本財産の増減の内容及び金額は以下のとおりである。

(単位:円)

基本財産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
土地	138,959,571	0	0	138,959,571
建物	486,149,249	0	19,465,782	466,683,467
定期預金	3,000,000	0	0	3,000,000
合計	628,108,820	0	19,465,782	608,643,038

6. 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩し

該当なし

7. 担保に供している資産

担保に供されている資産は、以下のとおりである。

土地（基本財産）	138,959,571円
建物（基本財産）	466,683,467円
計	605,643,038円

担保に供している債務の種類及び金額は、以下のとおりである。

設備資金借入金（1年以内返済予定額を含む）	19,500,000円
計	19,500,000円

8. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、以下のとおりである。
(単位:円)

	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
基本財産			
土地	138,959,571	0	138,959,571
建物	809,818,970	343,135,503	466,683,467
小計	948,778,541	343,135,503	605,643,038
その他の固定資産			
建物	6,825,000	5,202,657	1,622,343
構築物	309,750	217,792	91,958
車両運搬具	9,503,472	6,102,955	3,400,517
器具及び備品	80,950,513	65,096,283	15,854,230
有形リース資産	14,235,264	4,799,952	9,435,312
小計	111,823,999	81,419,639	30,404,360
合計	1,060,602,540	424,555,142	636,047,398

9. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高

債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高は以下のとおりである。

(単位:円)

	債権額	徴収不能引当金の当期末残高	当期末残高
事業未収金	48,181,496	0	48,181,496
合計	48,181,496	0	48,181,496

10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

該当なし

11. 重要な後発事象

該当なし

12. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態を明らかにするために必要な事項

該当なし